

## 環境調査結果のお知らせ

平成22年6月28日  
中央漁業指導所・水産試験場

平成22年6月28日午前10時から浦戸湾(高知市横浜・県漁協高知市支所前岸壁)の環境調査をしましたので、結果をお知らせします。

## 水温と塩分

水温は21.00～23.03℃、塩分は0.60～24.60でした。前日までの降雨の影響で河川水が大量に流入しており、底層を除いて、ほぼ淡水化していました。

## 溶存酸素

溶存酸素濃度は7.28～12.56mg/lでした。底層を除いて過飽和となっており、河川水の流入の影響と考えられます。

## プランクトン

透明度は0.3mで前回調査よりも大幅に低下していましたが、プランクトンの現存量は少なく、河川水の濁りが原因と考えられました。検鏡の結果、ラフィド藻類のヘテロシグマ・アカシオ(2～14cells/ml)、渦鞭毛藻類のプロロセントラム・マイカンス(1～2cells/ml)等が確認されましたが、いずれも出現細胞数は低密度でした。ただ、ヘテロシグマ類は、浦戸湾で毎年春先から初夏に赤潮を形成していますので注意が必要です。その他、特に危険な有害プランクトンは確認されませんでした。

海水温の上昇と降雨による環境変化で、赤潮が発生しやすい時期です。海面の様子や魚など生き物の異常を感じたときは、良く洗ったペットボトルに海水を汲んで、水産試験場か中央漁業指導所まで連絡してください。

平成22年6月28日の観測結果(高知市横浜 水深:3.0m 透明度:0.3m)

	今回調査結果			前回の結果(2010.5.28)		
	水温(℃)	塩分	溶存酸素	水温(℃)	塩分	溶存酸素
0m	23.03	0.60	12.19	19.9	12.54	-
1m	21.00	0.72	12.56	20.0	14.70	-
2m	21.06	2.04	11.40	21.4	29.60	-
底層	22.85	24.60	7.28	21.5	31.76	-

## プランクトン

		ヘテロシグマ・アカシオ	プロロセントラム・マイカンス	メソディニウム・ルブラム
横浜岸壁	0m	14	5	1
	2m	2	1	0

以上